

ナチュラルローソクオール薬局 新宿駅西店（東京都新宿区）

クオール薬局でお使いの三菱電機デジタルイノベーション株式会社のレセコンと株式会社カケハシの電子薬歴での場合です。各薬局でお使いのシステムとは操作方法等が異なります。

施設概要

クオール薬局では、全店舗で電子調剤録の活用を進めています。また、電子処方箋も早期の導入を行っており、新宿駅西店では2024年1月から電子処方箋の運用を開始しています。

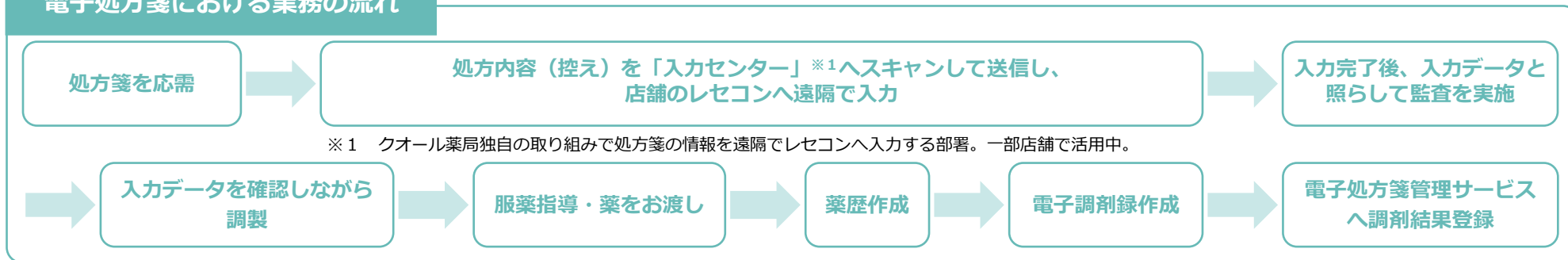


薬剤師
山口さん

- ・当社では、環境への負荷軽減、情報保護の観点からも積極的にペーパーレス化を推進しており、2018年頃から**電子調剤録を全店舗で導入しています。**
- ・電子・紙にかかわらずレセコンへの処方箋内容の入力は、入力センターで一括で行っており、**業務効率化を図っています。**
- ・電子処方箋対応医療機関からの処方箋受付数も増えてきており、紙処方箋も含めた**日々の調剤結果登録については当日の空き時間に行っており、順調に対応できています。**
- ・他店ではありますが、マイナ保険証で同意いただいた患者さまの**特定健診の情報から疑義照会に繋がった事例もあります。**
- ・これから院内処方情報も登録されるようになるということで、**外来化学療法情報を服薬指導前**に知ることができるようになるのは、患者さまへの声かけの際に助かります。



電子処方箋における業務の流れ



-調剤録を電子化することについてご質問-

Q. 電子調剤録はどのように管理していますか。

A. 電子薬歴システムで管理しており、氏名や処方日等の条件で該当の薬歴を検索すると、同画面上で電子調剤録の情報も確認できます。処方と紐付いているので紙処方箋に裏打ちしているイメージに近いです。

Q. 電子調剤録にしたことで、楽になる点がありますか。

A. 電子調剤録を導入することで、紙媒体で保存する文書が減る点です。加えて電子処方箋であれば、紙媒体で保存するものがなくなります。薬局において保管場所や保管のための手間が削減しました。

広報・DX/AI担当者の声

- ・調剤のオートメーション実現に向けて**AI OCRの導入やLINEアプリでの電子処方箋応需など様々な取り組み**を行っている。
- ・また上記取り組みを通じて患者さまの情報が見える化し、**患者さまの体験向上に向けた新しいサービスを開発**したいと考えている。
- ・環境配慮の観点でも紙削減は実施していきたいと考えている。また**紙の削減や人手を介さない運用フローによってミスも防げる**ため、システム事業者は異なるが、レセコンと電子薬歴間のシステム連携も対応していきたい。